

News Release

2013年1月21日

報道資料

～タッチパネルを使って効果的なプレゼンテーションを行える～

4人掛けテーブルタイプのディスカッションテーブル「WWS-DT301」を新発売

商品名	型番	希望小売価格	発売時期
ディスカッションテーブル	WWS-DT301	オープン価格	3月初旬



使用シーン・ディスプレイ画面のイメージ



ディスカッションテーブル「WWS-DT301」
(椅子は含まれておりません)

【企画意図】

近年、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末が普及しており、店舗などの接客においてデジタルコンテンツを使用するケースが増えています。特に、説明が多岐にわたる商品やサービスにおいては、内容を分かりやすく伝えるために動画や写真を使用するなど、プレゼンテーション効果の向上を図る企業が増えています。

パイオニア株式会社の100%子会社のパイオニアソリューションズ株式会社は2011年に、さまざまな端末に保存されているデジタルコンテンツの表示や書き込みなどを素早く行える52型のタッチパネルを搭載したディスカッションテーブルを発売し、多くの店舗やショールームなどで採用されています。

このたび、現行モデルのプレゼンテーション機能に、業務を効率化する新機能を追加した、32型タッチパネル搭載ディスカッションテーブル「WWS-DT301」を発売します。

本機は、動画や写真、説明資料などのデジタルコンテンツをタッチ操作で表示し、効果的にプレゼンテーションを行えるほか、「クリッピング・貼り付け機能」を使って必要な情報を簡単にまとめることや、「手書き帳票機能」(オプション)を使い手書きで電子帳票に入力することができます。また、ノートパソコンやスマートフォン、タブレット端末などさまざまな機器と連携した利用も可能です。店舗などに設置しやすい4人掛けテーブルタイプなので、旅行代理店やブライダルサロン、金融関係、不動産販売、携帯ショップ、カーディーラーなど、さまざまな接客窓口で効果的な説明やプレゼンテーションを行えます。

本商品は、1月24日(木)にパイオニアソリューションズ西新宿拠点で開催する「製品内覧会」でご覧いただけます。(事前に参加登録が必要となります。詳細につきましては、パイオニアソリューションズ 営業企画 <TEL 044-580-3226>までお問い合わせください。)

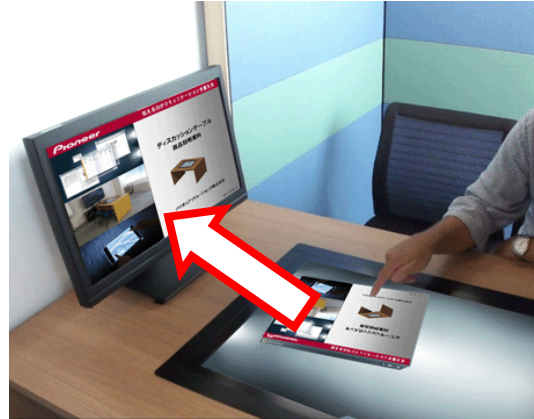
【ディスカッションテーブル「WWS-DT301」の主な特長】

1) タッチ操作によるスマートなプレゼンテーションが可能

- 画面内の資料をタッチ操作で拡大表示したり、補足したい内容を資料に書き込むなど、プレゼンテーションをスマートに行えます。
- 本機に接続したサブディスプレイに、カードを投げ込むようなタッチ操作で資料を表示できます。サブディスプレイを使った比較表示や大画面表示などにより、さらに効果的なプレゼンテーションを行えます。



マルチタッチ操作によるカードオペレーション



投げ込み操作で資料をサブディスプレイに移動

2) 高画質なフル HD モニターで、マルチ表示などを使った説明が可能

- 32 型のフル HD モニターで、高画質表示が可能です。また、複数のコンテンツを同時に表示し、操作できるので、比較や全体を俯瞰をしながらの分かりやすい説明を行えます。



高画質なフル HD モニター



複数のコンテンツを比較できるマルチ表示



接客に適した操作インターフェイス

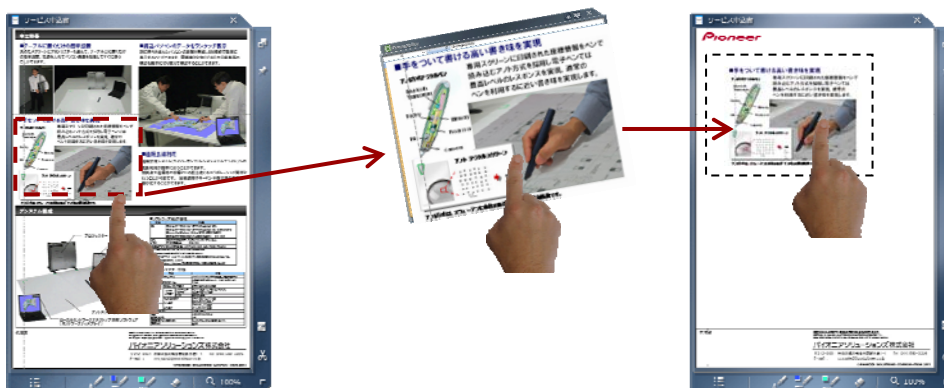
3) 業務を効率化する新機能を搭載

- 「Book 機能」を使って、PDF やパワーポイントなどの資料を本のようにページをめくって操作できます。新たに専用コンテンツを作ることなく、既存のコンテンツを最大限に利用できます。



本のようにページをめくったり、サムネイルメニューを使うなどスマートな説明が可能

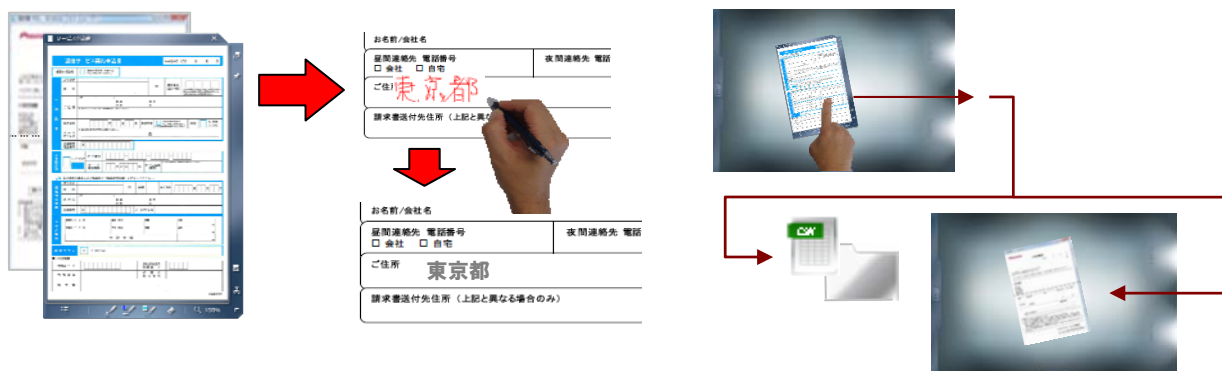
- 必要な情報だけ切り出せる「クリッピング機能」と、他のカードへの「貼り付け機能」を使って、必要な情報を抽出して簡単にまとめることができます。



切り出し箇所を指定するだけの簡単操作

貼り付け先のカードにドロップするだけで簡単貼付
その後拡大・縮小・位置変更も自由に行えます

- 「手書き帳票機能」(オプション機能:別途料金が必要です)を使えば、帳票画面に手書き入力した内容を自動文字認識変換して電子化し、登録することが可能です。



帳票作成ツールで
入力帳票・出力帳票用紙を作成^{※1}

手書き入力すると
自動文字認識変換されます

入力後にカードを投げ込むと、CSV形式で指定パス
に出力するとともに画面上にも表示^{※2}

※1 帳票作成は付属の作成ソフトウェアを使って行います。

※2 専用帳票に入力されたデータは、CSV形式で出力することができ、データベースとの連携も可能です。

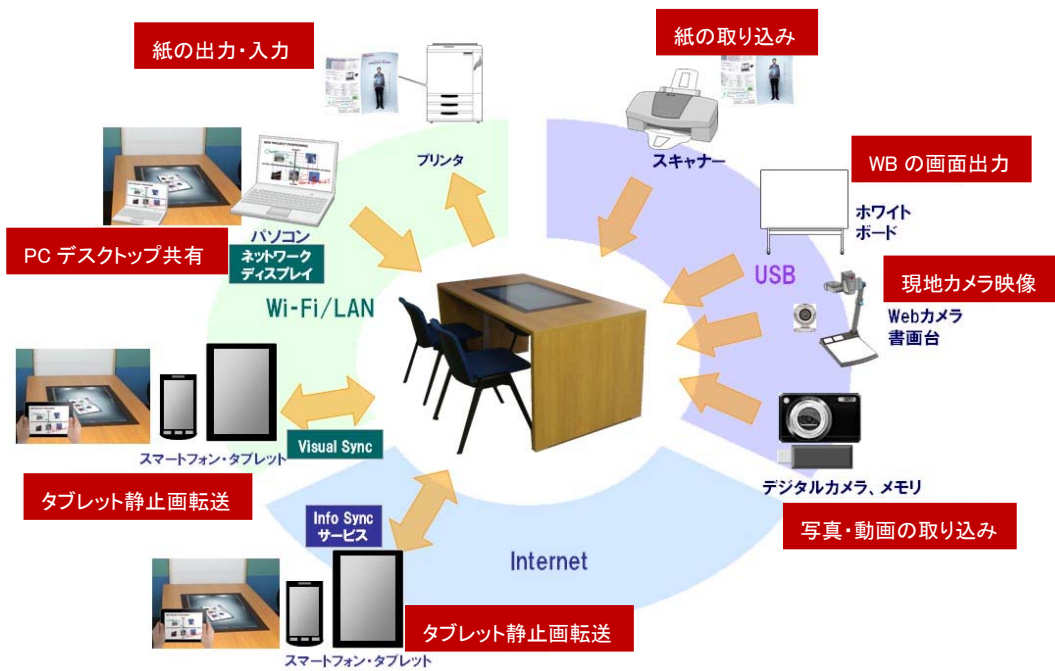
- コンテンツを選択すると、商品説明などの選択されたコンテンツを自動再生する「サイネージモード」を搭載しています。



コンテンツを選択すると最大化して自動再生します

4) さまざまな端末と連携可能な「メディアハブ機能」

- ・ パソコンのデスクトップ画面を転送表示する「ネットワークディスプレイ機能」を搭載^{※3}。
- ・ タブレットで利用しているコンテンツを、Wi-Fi 接続で静止画転送できる「Visual Sync 機能」を搭載^{※4}。
- ・ インターネットや二次元バーコードを使ってお客様のスマートフォンに資料を提供する「InfoSync サービス機能」を搭載^{※5}。
- ・ デジタルカメラの写真を、USB 接続するだけで簡単に表示可能。
- ・ スキャナーで取り込んだ画像やホワイトボード^{※6}に書き込んだ内容を表示可能。



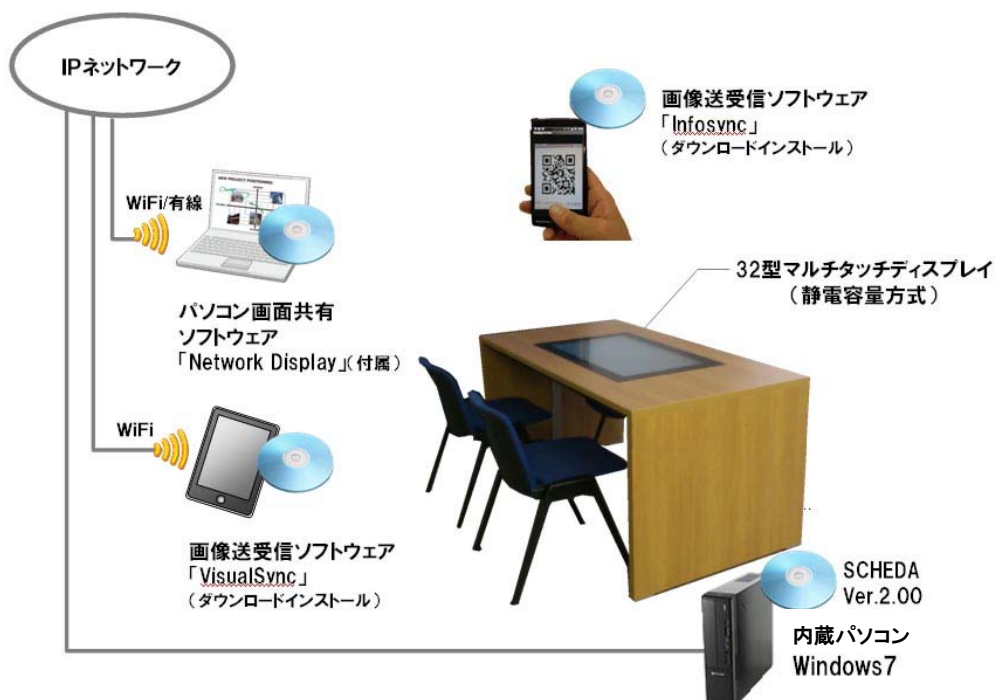
※3 接続パソコンに付属ソフトウェアをインストールする必要があります。

※4 利用端末に Visual Sync ソフトウェア (無料) を App store/Google Play からダウンロードインストールする必要があります。

※5 別途サービス契約が必要です。利用端末に InfoSync ソフトウェア (無料) を App store/Google Play からダウンロードインストールする必要があります。

※6 スキャナー・ホワイトボードの動作確認機種についてはお問合せください。

【ディスカッションテーブル WWS-DT301 システム構成】



【ディスカッションテーブル WWS-DT301 の主な仕様】

■本体

□モニター部		
ディスプレイ		32 型 FHD (1,920×1,080 ピクセル)
タッチパネル		静電容量方式マルチタッチパネル(最大 10 点)
□専用部		
パソコン	OS	Microsoft® Windows7
	CPU	Intel® Core i7 プロセッサ
	メモリ	8 GB
ソフトウェア	プリインストール 利用端末へダウンロードイン ストール	<ul style="list-style-type: none"> ・SCHEDA Ver.2.00(ディスカッションテーブルソフトウェア) ・NetWorkDisplay(PC 用リアルタイムデスクトップ転送ソフトウェア) ・Visual Sync (スマートフォン・タブレット用画面転送ソフトウェア) ・InfoSync (スマートフォン・タブレット用画面転送ソフトウェア)
□入出力・接続周辺機器		
出力	サブディスプレイ出力	2 系統
	音声出力	3 W×2(4 Ω)
コントロール 周辺機器	USB ポート	2 系統(USB メモリ・推奨周辺機器専用) (専用パソコン本体)
ネットワークディスプレイ		ネットワーク TCP/IP、IPv4
□その他		
外形寸法(W×H×D)		1,400 mm×720 mm×720 mm
質量		約 90 kg
電源		AC100 V ±10 V 50/60 Hz (国内専用)
消費電力(定格)		210 W
動作環境温度範囲		5 °C～30 °C
動作環境湿度範囲		20～80 % (結露なきこと)

■ソフトウェア

□SCHEDA 主な仕様		
カード 対応ファイル	静止画カード	bmp、jpeg、png、gif、tif
	動画カード	wmv、mov、nts、mp4
	アプリケーションカード	xls、xlsx、doc、docx
	Book	pdf、ppt、pptx、pps、ppsx
	ブラウザカード	Web ブラウザ
カード操作	マーキング書込み機能	通常ペン・指示ペン(サイズ・色/可変)、消しゴム
	カード全体操作	拡大・縮小、回転、角度フィット、キャプチャー・コピー、削除
	カード内コンテンツ操作	ズームイン/アウト、表示位置回転、スクロール
	表示操作	カード表示ロック、最背面、整列、一覧検索、比較表示
	加工操作	クリッピング、貼り付け
	保存	①静止画： 静止画形式で保存 ※静止画形式:JPG、PNG、BMP、TIFF、GIF、MHT、PDF ※加工(手書き、クリッピング等)カード:SCHEDA 独自形式/上記静止画形式 ②ブラウザ、ネットワークディスプレイ： 表示画面の静止画を保存 ③アプリケーション、動画： 読み込みファイル形式で保存 ④Book： PDF、パワーポイント形式、静止画で保存
	印刷	静止画・動画・アプリケーション・ブラウザ： 表示ページ印刷 Book： ページ印刷
テキスト入力	キーボード、ソフトウェアキーボード、手書き文字変換パッド	
サブディスプレイ	画面制御数	2 (表示向設定可能)
	表示時の動作	カード表示のミラーリング
アプリケーション 連携	CCS-Prime 遠隔会議連携	デスクトップ共有、TV 会議をシステム利用可能 共有ディスプレイ設定(データ共有・TV 会議画面設定) ※別途、「サイバーカンファレンスシステム・プライム」が必要になります。
	Network Display	リアルタイムデスクトップ表示 パソコンのリモート操作 ※別途、パソコン側にネットワークディスプレイが必要になります。
	Visual Sync/InfoSync	静止画像送受信 ※別途、App Store、Google Play からダウンロードが必要になります。(無料) ※接続方式： Visual Sync は、Wi-Fi 接続、InfoSync はインターネット接続

■連携ソフトウェア

□Visual Sync/InfoSync 主な仕様	
対応 OS	iOS 4.2～、Android 2.3～
画像	拡大・縮小、回転、キャプチャー・削除
書込み	書込み・消しゴム(Visual Sync のみ)
その他	ホワイトノート機能
通信機能	ディスカッションテーブルとの静止画像の送受信・保存

□Network Display 主な仕様		
パソコン側	OS	Microsoft® Windows® XP Professional SP3 Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition SP2 Microsoft® Windows Vista® SP2(32 bit/64 bit) Microsoft® Windows® 7(32 bit/64 bit) ^{※7 ※8}
	CPU	Intel® Pentium®4 プロセッサ 2.4 GHz 以上 Intel® Pentium®M プロセッサ 1.0 GHz 以上
	メモリ	512 MB 以上 ^{※9 ※10}
	ネットワーク	TCP, IPv4 / 使用ポートプロトコル:1 ポート 50005 (競合時は、以降 100 番を自動選択)

※7 記載以外のエディション、サービスパックには非対応です。

※8 Windows Aero 機能は OFF にすることを推奨いたします。

※9 併用するアプリケーションやウイルス対策ソフト、画面解像度 (UXGA 以上) によっては、増強が必要な場合もあります。

※10 Windows Vista® / Windows® 7 をご利用の場合は、1GB 以上を推奨いたします。

※ マルチディスプレイには対応していません。

※ センダーソフトウェア単独で利用した際の動作環境です。CCS-Prime と併用利用する場合は、CCS-Prime の動作環境に準じます。

※ PC の「画面のプロパティ」→「スクリーンセーバー」→「モニター電源」→「電源設定」の、「ハードディスクの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」を全て「なし」で使用してください。

□サブディスプレイ推奨仕様	
入力	アナログ RGB (D-sub15pin)、DVI、HDMI
解像度(Pixel)	1,920×1,080 (FHD)、1,360×768 (WXGA)、1,280×1,024 (SXGA)、1,280×768 (WXGA)、 1,024×768 (XGA)

* 商品の仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

* Microsoft、MicrosoftOffice および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国・日本およびその他の国における登録商標または商標です。

* Intel、Core は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

* IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

* iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

* Google play、Android は、Google Inc.の登録商標です。

* Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

* HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI ライセンシングの商標または登録商標です。

* 本文中の会社名、製品名、サービス名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。